

東日本大震災から3年、  
復興に向けて解決すべき問題は何なのか——

# 東日本大震災と 地方自治

—復旧・復興における  
人々の意識と行政の課題—

【著】河村和徳（東北大学大学院情報科学研究科・准教授）

【協力】株式会社 河北新報社

A5判・定価（本体2,300円+税）送料300円

※送料は平成26年4月時点の料金です。

東日本大震災で浮き彫りになった様々な問題点

——支援団体の受け入れ、仮設住宅の自治…etc

それらを著者自ら現地で行った調査、被災自治体の取り組み、東日本大震災のみならず、中越、能登半島等の震災の事例等を交え、客観的に整理し、その課題を提示する。

震災時の支援のあり方、震災後の対応など、本書は将来を担う行政職員や学生にとって必携の書である。

政治学を専攻する筆者としては、今回の震災のキーワードは「絆」ではなく、「想定外」だったのではないかと、思っている。「想定外の津波」「想定外の原発事故」と「想定外」という言葉が安易に使われ、被災の現場を知らない者が使う一種の「免罪符」「マジックワード」として機能していたような感じがした。「想定外」という用語は、言外に準備不足であったことを認めている。少なくとも危機管理の陣頭に立つ政治的なリーダーは、「想定外」という言葉を安易に使用すべきではないし、使うのであるならば、「どうして想定外に陥ったのか分析し、次にそうしたことを起こさないよう検討すべき」である。東日本大震災の特徴を「想定外」と一言で片付けてしまうのは簡単であるが、それでは次につながらない。本章では、筆者なりに東日本大震災の特徴を考え、不足しがちであった被災地のマンパワーについて考察する。

……本書第1章「東日本大震災の特徴を考える」より

ぎょうせい

●おかげさまで120年、これからの100年も!!

# 目次

## はじめに

1. 断片的な情報で描かれる被災地
2. 震災記録・震災報道
3. 「被災地」はどこか

## 第1章 東日本大震災の特徴を考える

1. 「想定外」
2. 広域・複合的な災害
3. 人と電気の被災
4. 人々の意識
5. 中央地方関係の再確認
6. 研究者による被災地支援の課題

## 第2章 被災地における利他的活動はどうだったか

—調査結果にみる仙台市民のボランティア活動・節電行動

1. はじめに
2. 仙台市民のボランティア活動
3. 仙台市民の節電行動
4. おわりに

## 第3章 在日大使館が必要としていた被災地情報

—被災地からの情報発信とその課題

1. はじめに
2. 誰に何を聞くのか
3. アンケートにみる情報提供の状況
4. まとめにかえて

## 第4章 震災と「地域の足」の確保

—事業者側の視点を意識して

1. 「地域の足」の担い手の声
2. 有料道路無料化の光と影
3. 俯瞰的な視点の必要性
4. 住民が「地域の足」のステークホルダーになる可能性
5. 東日本大震災被災地にみる「地域の足の確保」に関するその他の課題

## 第5章 社会団体調査からみる東日本大震災

—被災地支援と震災対応に対する評価

1. はじめに
2. 社会団体調査の概観
3. 団体の被災地への支援
4. 団体からみた復旧・復興に対する各アクターの対応の評価
5. 団体の考える復旧・復興における「選択と集中」

## 第6章 復旧・復興を評価していたのは誰か

—仙台市民の意識調査の結果から

1. はじめに
2. 調査時点における仙台市の状況
3. 意識調査にみる震災復旧・復興に対する仕事ぶりに対する評価
4. おわりに

## 第7章 「新しい公共」支援事業からみえるもの

—運営委員としての経験から

1. はじめに
2. 宮城県「新しい公共」支援事業運営委員会
3. 被災地で垣間見えた「新しい公共」支援事業の限界

## 第8章 「ご近所の力」による復旧・復興

—「おまかせ復興」という視点との対比から

1. 変わらぬ風景・変わりつつある被災者支援
2. 宮城県の調査結果にみる支援団体の困窮
3. 「ご近所の力」による復旧・復興の課題
4. 地縁組織が復旧・復興の一翼になるためには
5. おわりに—平時の地域づくりとの連続性

## 第9章 「絆」で仮設住宅自治会が形成されたのか

—自治会役員に対する聞き取り調査の結果から

1. 仮設住宅自治会形成とコモンズ研究
2. 仮設住宅自治会形成の背景
3. 調査結果からみえること

## 第10章 何が復旧・復興を遅らせるのか

—住民参加の逆機能に注目して

1. はじめに
2. 住民参加をめぐる混乱
3. サーヴェイ・データによる検討
4. おわりに

## 第11章 公務員制度がもたらす復旧・復興の遅れ

—首長のリーダーシップとの結びつきを意識して

1. 震災で垣間見えた「公平」の難しさ
2. 公務員制度がもたらす復旧・復興の遅れ
3. 求められる首長のリーダーシップ

## 第12章 市町村は危機管理・復興の単位になりうるか

—市町村合併の効果との関連から

1. 震災対応の評価に投影される市町村合併の評価
2. 合併と危機管理—岩手宮城内陸地震における栗原市の事例から
3. 危機管理の単位を考える
4. おわりに

## 第13章 自治体間クラウドの可能性について考える

—災害時相互応援協定の比較の中で

1. はじめに
2. 自治体間クラウド活用の意義
3. 釜石市の事例にみる自治体間クラウドの可能性
4. 自治体連携の盲点

## 著者プロフィール

河村 和徳 (かわむら かずのり)

東北大学大学院情報科学研究科・准教授

学歴：慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学

主な著作：『現代日本の地方選挙と住民意識』慶應義塾大学出版会、2008年(単著)。『市町村合併をめぐる政治意識と地方選挙』木鐸社、2010年(単著)。『被災地から考える日本の選挙—情報技術活用の可能性を中心に』東北大学出版会、2013年(共編著)。

商品に関するご照会・お申し込みは

フリーコール (通話料無料)  
電話受付時間：平日9時から17時

TEL：0120-953-431  
FAX：0120-953-495

Web  
サイト

URL：http://gyosei.jp

キリトリ線

申込書

## 東日本大震災と地方自治 —復旧・復興における人々の意識と行政の課題—

部

A5判・定価(本体2,300円+税)送料300円 コード 5108051-00-000 震災と自治

◎上記のとおり申し込みます。

平成 年 月 日

御住所 (〒 — )

(社費・公費・私費)

フリガナ  
御氏名

Ⓜ

TEL

e-mail

@

※送料は平成26年4月時点の料金です。

※お客様の個人情報は、契約の履行、弊社からの商品・サービスのご案内以外の目的には使用いたしません。



株式会社  
ぎょうせい

本社 東京都中央区銀座7-4-12 〒104-0061

本部 東京都江東区新木場1-18-11 〒136-8575

TEL：0120-953-431 / FAX：0120-953-495

URL：http://gyosei.jp

●取扱者